

## 化学工学会第 46 回秋季大会 シンポジウム S-9

### 「次代を担う各種電池等のエネルギーデバイスの新展開 –材料・プロセス・システム–」 報告書

本シンポジウムはエネルギー部会、材料・界面部会、反応工学部会の三部会共催で、秋季大会初日から三日目にかけて開催され、以下の 3 件の招待講演を含めてシンポジウム全体の講演数は 43 件であった。

- ・藤ヶ谷 剛彦 先生 (九州大学) 「中温無加湿型燃料電池の低白金化」
- ・山田 博俊 先生 (長崎大学) 「酸化物系全固体電池における界面の構造と抵抗低減の挑戦」
- ・早瀬 修二 先生 (九州工業大学) 「次世代塗布型太陽電池 -ペロブスカイト太陽電池の界面制御と高効率化-

一般講演では、燃料電池、二次電池、太陽電池などの次世代エネルギーデバイスを対象に、材料開発、構造解析、モデリングなどについて、多数の報告がなされた。

また、学生による口頭発表を対象に、発表・研究内容・質疑応答に関して審査を行い、審査対象 32 件の中から以下の 3 件の学生優秀発表賞(順不同)を選定した。

- ・向井 健人 (大阪府立大学) 「PLD 法を用いたナノ粒子修飾による SOFC の熱耐久性および出力密度の向上」
- ・甘利 俊太郎 (東京工業大学) 「PEFC 用含ヘテロ芳香族系高分子電解質膜の構造と性能」
- ・阿曾沼 飛昂 (京都大学) 「PEFC のカソード触媒層における酸素還元反応の湿度依存性」

オーガナイザー(材料・界面部会担当)  
東京工業大学 田巻孝敬